



翔け三郷の子

上越市立三郷小学校
令和4年度学校だより
第5号
令和4年8月26日
三郷小学校 HP <http://www.sango.jorne.ed.jp/>



「思考力」を育みたい

校長 齋藤 哲生

今年度の学校だよりでお知らせしているように、学校では「思考力」をつけることを重視しています。やや大きな話になりますが、子どもたちが激変する社会の中で、力強く生きていくためにも必須な力だと考えます。現在、書店を訪れてみると、思考力に関する書籍がたくさん出されています。

先日、『なぜ、いま思考力が必要なのか?』という本が目にとまりました。著者は、時事問題やニュースについて分かりやすい解説でお馴染みの池上 彰さんです。前書きには次の一説があります。

・・・この本で私があなたに示したい思考力とは、事実を真摯に探究して、それを積み重ねていくことによって、社会の現実と自己のありようを知り、「自分がよりよく変わる力」です。・・・

「自分がよりよく変わる」ということは様々な状況に対応する力をつけることにつながります。思考力について、また新たなとらえができたと思った次第です。それでは、私が考える、学校における思考力を育むちょっとした取組を紹介します。

考える「間」をもつようにすること

子どもは興味をもった質問やクイズなどに、すぐに答えたいものです。特に低学年はこの傾向があります。しかし、思考力を育むためには、「考える間や時間」が必要なことが多々あります。ぱっと答えることも認めつつ、場合によっては、考える間をもつことを大事にしましょうと、子どもや職員に話しています。

考える間は、ふだんの生活でも大切です。私は他の学校を訪れた時には、廊下を見ます。子どもが廊下を走ることなく静かに歩いているならば、考える間をもつ子どもが育っているなどと思わされます。なぜなら、廊下を走るという行動をとらず「他の人にぶつかったら大きなけがさせるかも」といった考えをもってると予想されるからです。三郷の子どもたちも考える間をもっていますが、さらに向上をめざしたいところです。



充実した体験活動からの思考をうながすこと

子どもは五感を通して、全身で対象とふれ合う体験活動を積み重ねながら、たくさんのことを学びます。「為すことによって学ぶ」ということは大事で、オンライン学習ではできない学びが詰まっています。話は発展しますが、子どもたちが学校に通って学ぶ意義の一つに充実した体験活動がある、と思います。

写真は5学年の田植え体験です。単に活動するだけではなく、「農家の人はどんな思いで農業に取り組んでいるのか」「お米づくりとふだんの食生活とは、どのようなつながりがあるのか」などを子どもが考えることが大切です。そこでは、活動を準備するだけではなく、「体験を通して、子どもが考えるようにしていく」という教師ののプロとしての教育技術が必要となります。



皆との学びや生活をよりよくする話し合い

この頃、中学校や高等学校では「生徒自らの話し合いで校則を変える」という動きが見られます。多感な時期に多様な考えをもつ生徒の皆さんが、全体のことを考えてよりよい価値や校則を見出すことは、とてつもなく思考力を働かせているに違いありません。

三郷小では子どもの代表委員会を開き、話し合いをもっています。もちろん、中学生、高校生のようなレベルではありませんが、互いに意見を出し合い、よりより意思決定をしていくことをこれからも大切にしていきます。

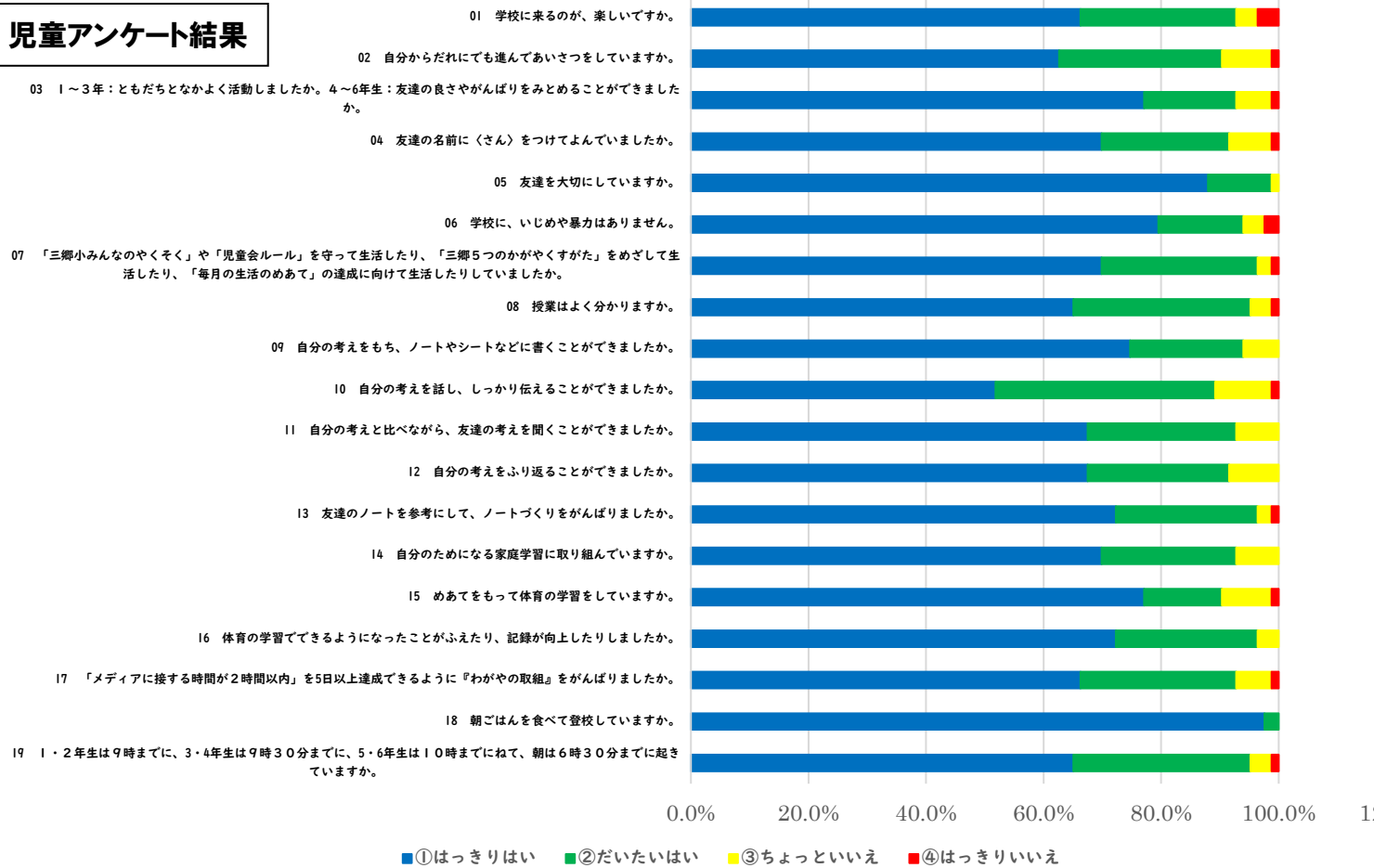


80日間予定の2学期がスタートします。思考力の向上は、地道な取り組みの積み重ねです。子どもたちがぐんと成長する2学期を目指します。ご協力をお願いします。

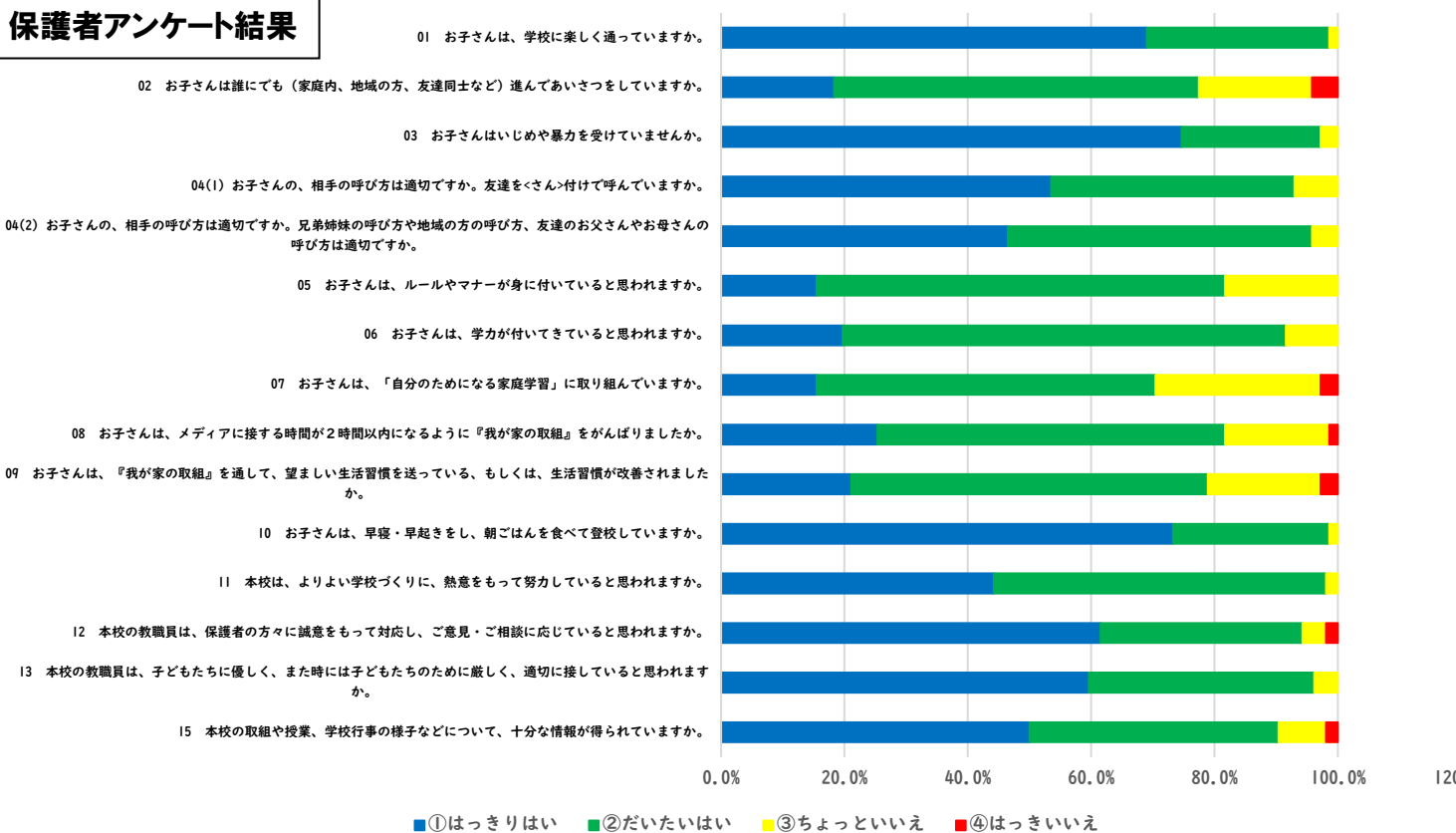
1学期の教育活動の振り返り

7月に保護者の皆様と全校児童から、1学期の教育活動について評価をしていただきました。アンケートにご協力をいただきまして感謝申し上げます。いただいたアンケートの結果についてお知らせいたします。

児童アンケート結果



保護者アンケート結果



各プロジェクトの「1学期の振り返り」と「2学期の取組」

ハート「徳」プロジェクト

1	思いやりの心の育成について	肯定的評価
	「学校に来るのが楽しい」(児童)	92.8%
	「友達を大切にしている」(児童)	98.8%
	「いじめや暴力はない」(児童)	94.0%
	「友達と仲良く活動できた」「友達のよさやがんばりを認めることができた」(児童)	92.8%
2	基本的な行動様式・生活習慣の定着について	肯定的評価
	「自分から誰にでも進んであいさつをした」(児童)	90.4%
	「友達の名前に〈さん〉を付けて呼んだ」(児童)	91.6%
	「家庭や地域の方の呼び方は適切である」(保護者)	95.8%
	「ルールやめあてを守って生活した」(児童)	96.4%

いずれの項目も90%以上の肯定的評価となりました。

三郷小学校では、全ての子どもたちに「学校に来るのが楽しい」「友達を大切にしている」姿を目指しています。今後も一人一人を丁寧に見取り、思いに寄り添った支援に努め、どの子どもも安心して楽しく過ごせる学校づくりを目指します。

あいさつ指導の継続により、あいさつを返せる子は増えています。今後は「進んで」あいさつができるように、指導に努めます。家庭や地域でも、声掛けをお願いします。

適切な友達の呼び方やルールの遵守は、ほとんどの子がよくできています。しかし、廊下歩行の仕方、話の聞き方などは、指導の継続が必要だと考えます。

3 2学期の主な取組について

① 「いじめ・暴言・暴力 『0』」を目指すために

- ・子どもたちが安心して過ごせる学級づくりに努めます。また、相談しやすい雰囲気づくりをし面談時間を確保します。
- ・11月の全校SSE(ソーシャスキルエデュケーション)や、「いじめ見逃しゼロスクール集会」にて、児童への働きかけを行います。
- ・アンケートや教育相談を活用して、いじめや悩み事の早期発見、早期解消に努めます。
- ・いじめ不登校等対策委員会で情報共有をしたり、解決の方策について話し合ったりし、複数の職員でよりよい対応に努めます。
- ・必要に応じて面談を行い、家庭、保護者との連携に努めます。
- ・10月のハロウィンパーティー、11月の一人一鉢運動など、児童同士のかかわりを深める活動の機会を生かし、協同してできたことを通して、自己有用感や達成感を高めます。

② あいさつの習慣化、「さん」付けの徹底

- ・児童会と連携して、あいさつ運動を工夫します。
- ・職員から「進んであいさつ」「さん付けの徹底」をします。地域、家庭でも、大人からあいさつする姿を子どもたちに示してください。

③ ルールを守る、マナーを大切にする指導

- ・時間を守って行動できる子がほとんどです。がんばりを認め、ほめながら指導を続けます。
- ・廊下の歩行については、2学期の初め(8,9月)に強調句間を設け、改善を図ります。また、委員会活動による子どもたち主体の改善も目指します。

スタディ「知」プロジェクト

1	よりよい自分の考えをつくり上げる力の向上を目指した授業改善	肯定的評価
	「授業がよく分かる」(児童)	95.2%
	「自分の考えをもち、ノートやシートなどに書くことができた」(児童)	94.0%
	「学び合い活動に進んで取り組むことができた」(児童)	91.2%

「自分の考えを話し、しっかり伝えることができた」89.1%
 「自分の考えと比べながら、友達の考えを聞くことができた」92.8%
 「自分の考えを振り返ることができた」91.6%

「ノート作りをがんばった」(児童)	96.4%
2 基礎的・基本的な学習内容の定着を目指した継続指導の実施	肯定的評価
「自分のためになる家庭学習に取り組んだ」(児童)	92.8%
「学力が付いてきている」(保護者)	91.5%

友達の考えを聞くことや振り返るといった内面活動に対する肯定的な評価は 9 割を超えていますが、考えたことを表出して外へ働きかける活動についての評価は 9 割を下回っていました。考えを表現する力、他者に伝える力の育成が課題と言えます。

「35ノート発表会」では、友達から肯定的な感想を得ることで達成感を味わい、その後のノート作りへの意欲を高めたことがうかがえました。

職員の働き掛けに応じて「自分のためになる家庭学習に取り組んだ」と回答した児童が 9 割を超えている一方で、保護者の評価は 70.4%と数値に開きがありました。保護者の方の話を聞くと、テレビを見ながら、動画を見ながら等のいわゆる「ながら」勉強に問題を感じているようでした。今後は、時間、内容だけでなく、取り組み方の指導もしたいと考えます。

3 2学期の主な取組について

① 学び合い活動の充実

- ・「35タイム」における話合いの際の人数や形態、考えを視覚化しまとめるための方法など、発達段階に応じた工夫と改善に努めます。
- ・思考力・判断力・表現力の育成を意図した課題を提示し、他と関わりながら考えをまとめられるような話合いの活動を工夫します。
- ・「35学び合いスキル」「うっとり筆箱・下敷き」「三郷みんなのやくそく」などを、実態に応じて振り返り、望ましい学習の仕方が分かるようにします。

② 学びの軌跡が見えるノート作り

- ・「めあて」「まとめ」などの掲示カードを用い、授業の流れが分かる板書を心掛けます。
- ・「35ノートガイド」を活用してノート指導を継続します。
- ・「35ノート発表会」(10月)では、1学期とは異なる教科やドリル以外の家庭学習に取り組んだノートを発表する機会となるよう働きかけます。

③ 読書活動を充実させるための取組

- ・調べ学習だけでなく図書館利用の時間を確保したり、教室においても読書の機会を工夫したりして、読書量を増やすようにします。
- ・校内読書旬間を契機に、多読だけでなく様々なジャンルの本に親しめるように、貸し出しの条件を付けたり、学校司書教諭と連携し読み聞かせやブックトークの機会をつくったりします。

④ 全校テストを活用した学習内容の習熟

- ・テストの際は、見直しのポイントを説明したり板書したりして、効果的な見直しができるようにします。
- ・ワークシートやドリルで誤答が多い問題を授業で取り上げ、なぜ誤答になるのかについて話し合う場を設けたり、類似問題を提示したりして、重点的に復習をします。

⑤ 家庭学習の充実に向けた指導の工夫

- ・家庭学習を点検する機会や方法を工夫します。ご家庭でもお子さんの学習の様子をご覧になり声掛けをお願いします。
- ・「家庭学習カード」や「スタディウィークがんばり表」は、マンネリ化しないように定期的に少しずつ形式を変えたり、重点的にめあてを設けたりして、意欲が高まるようにします。
- ・漢字や計算ドリルの同じ問題を繰り返すだけでなく、様々な問題に取り組めるように、タブレットや辞典を活用した家庭学習の仕方を提示します。
- ・「家庭学習ガイド」を配付して、時間や内容、約束等を確認します。

チャレンジ「体」プロジェクト

1 体力の向上	肯定的評価
「体育でできるようになったことが増えたり記録が向上したりした」(児童)	96.4%
「めあてをもって体育学習をしている」(児童)	90.4%
2 生活習慣の改善	肯定的評価

「メディアに接する時間が2時間以内」5日以上達成できるように『我が家の取組』をがんばった」(児童)	92.8%
『我が家の取組』を通してお子さんの生活習慣が改善された」(保護者)	78.8%

アンケート結果から、めあてをもって意欲的に体育学習に取り組んでいることが分かります。今後も、発達段階や学習内容、児童の実態に合わせためあての設定や振り返りができるように工夫していきます。

『我が家の取組』強調週間では、7日のうち5日以上めあてを達成することができた児童が毎月95%以上と、高い割合でした。各学級で子どもたちへの働きかけや支援を行った結果だと考えます。一方で、日常会話から、長時間のメディア接触をしている様子がうかがえることもあります。引き続き取組への意識が高まるように働きかけていくことが必要と考えます。

3 2学期の主な取組について

① 体力の向上に向けて

・普段の授業では、「めあて→振り返り」の流れを意識した授業づくりを行います。また、自分のめあてをもち、その達成に向けて運動に取り組んだり、振り返りを通して達成感が得られたりするよう、引き続き学習カードを活用したり、コース設定・グループ活動の工夫を進めたりします。

② 生活習慣の改善に向けて

・全学級で、発育測定の際に、「早寝・早起き・朝ごはん」等の生活リズムの大切さについて、養護教諭による保健指導を実施します。
・「我が家の取組」への子どもたちの取組の様子や結果を保健便りや学年便りでお知らせし、家庭と情報共有し、学校と家庭が連携して取組を継続していきます。

保護者の皆様の自由記述から

↑学期末に実施した学校評価アンケートでは、保護者の皆様からご回答いただき、ありがとうございました。

- 小学一年生ということで不安でしたが担任の先生をはじめとする三郷小の先生がたのおかげで楽しく過ごしているようです。ありがとうございます。
- 学習や行事に大変ではあったようですが、頑張って取り組むことができました。
- △漢字ドリルなどで間違っている字があるにも関わらず丸をされておき、本人も気づかず、しばらくして私が気づきました。チェックしていなかったこちらも、ミスに気づかない本人も悪いですが、丸つけをされるなら丁寧に見ていただきたいです。
- 担任の先生に駄目な事は駄目としっかりと注意していただいているようでありがたく思います。授業態度も以前と比べ少しずつ落ち着いてきたと感じます。これからも、時に厳しく指導していただきたいと思います。

【学校から】

昨年度に引き続き学校では、子どもたちの安全・安心を最優先とし、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、教育活動を進めてまいりました。保護者の皆様のご理解、ご協力のおかげで、運動会、5年生の自然教室、6年生の宿泊体験学習など、大きな行事も計画通り実施することができ、その中で子どもたちは生き生きと活動しました。心より感謝申し上げます。

今回の学校評価アンケートでも、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。お子さんのよい姿や職員への対応について温かいコメントをいただき、何よりの励みとなりました。

いただいたご意見につきましては、個別面談の折に直接お話をさせていただいたものもあります。今後一層、子どもたちのよりよい成長のために職員一同、力を尽くしたいと思います。

◎宿題のチェックに関しては、いただいたご指摘を受け止め、丁寧な対応に努めます。しかし、休み時間は、子ども同士のトラブルを解決するために話し合ったり、一人一人の思いに寄り添うために面談をしたり、子どもとの信頼関係づくりのために一緒に遊んだりするなど、より優先すべき業務に担任が日々追われているのも事実です。また、自分で間違いを見つけ、修正し、そこから学ぶ力を付けることは、成長に伴いとても重要になります。ぜひご家庭でも、今後もお子さんの学習の様子を確認し、必要に応じた声かけやご支援をくださいますようお願いいたします。

[8・9月の生活目標] みんなが気持ちよく生活するために ルールを守ろう

令和4年度 8・9月 学校行事予定

日	曜	行 事	給食
8/26	金	2学期始業式 3限後下校 [11:30]	×
27	土		
28	日		
29	月	給食開始、上越教育大学教育実習 9月16日まで	○
30	火	発育測定 県立看護大学生1日実習	○
31	水		○
9/1	木		○
2	金	4年校外学習 (地球環境学校)	○
3	土		
4	日		
5	月		○
6	火		○
7	水	学校訪問カウンセラー来校日 (午後) マラソン記録会前健康診断 クラブ活動④ (4~6年)	○
8	木		○
9	金	保健厚生部体育館キャットウォーク清掃	○
10	土	「我が家の取組」16日まで	
11	日		
12	月	上越教育事務所訪問	○

日	曜	行 事	給食
13	火		○
14	水	委員会 (5、6年)	○
15	木	市教育委員会学習指導改善訪問 全校5限放課	○
16	金	PTA 街頭指導 (午後)	○
17	土		
18	日		
19	月	敬老の日	
20	火		○
21	水	チェンパロ公演 学校訪問カウンセラー来校日 (午後) クラブ活動⑤ (4~6年) ※3年生はクラブ見学	○
22	木	金管移杖式 [午後 体育館] 全校5限放課 第2回学校運営協議会	○
23	金	秋分の日	
24	土		
25	日		
26	月		○
27	火	全校集会 (昼休み) 市科学研究発表会	○
28	水	委員会 (5、6年)	○
29	木	校内マラソン記録会	○
30	金	(マラソン記録会予備日)	○